



2025年度後期 宮崎大学公開講座



# 世界の野球事情 (高校野球特別編)



日本では人気スポーツである野球も、世界的に見ればマイナースポーツ。大谷選手の活躍で、野球を始める日本人少年も微増傾向にあるようですが、野球離れは依然として深刻な状況です。

5年目を迎える本講座では、日本以外の野球事情を知っていただくとともに、野球というスポーツが持つ価値と可能性についてこれまで65回に渡り発信してきました。今回は、選手の人間的成長をもっとも重要視している高校、震災や豪雨災害に見舞われながらも奮闘する高校、これまでの高校野球の常識を覆すような特色ある指導・人材育成を行っていて、国内でも注目が集まる高校の監督さんにお話しいただきます。

都合の良い時だけ視聴可能。途中入退室可能。カメラOFFでの視聴可能です。

日時

2025年11月5日(水)～2025年12月3日(水)

(水曜日の19:00～20:30を基本に開講します。詳細は別紙を参照ください。)

会場

オンライン開催(Zoomによる配信)

受講料

無料

1. 途中入退室自由、都合のつく日のみの視聴OK
2. 夕食をとりながら画面OFFにしての視聴OK
3. 主催者・協力団体等のイベント情報等も配信されます

## この講座のココに注目

全国的にも注目されている指導者が講師を務めるため、高校野球ファンにとっては、ご存じの高校も多いと思います。これからの時代にあった指導法を模索中の指導者に限らず、職場での若手の人材育成、子育てなど、あらゆる場面で参考になるヒントが見つかること間違いありません。

(JICA野球技術専門委員 黒田次郎)



「ノーサイン野球で甲子園?」、「世界に野球を広めるために甲子園を目指す?」、「平日練習は50分限定?」、もはやこれまでの高校野球指導の概念を打ち壊す講師陣がラインナップ。自宅にしながら、これほどの豪華講師陣が登壇するセミナーに参加し、学ぶ機会はめったにありません。

(アジア野球連盟審判長 小山克仁)



お申込みはこちら (WEB申込のみ) ↓

申込受付期間: 9/17(水)～

宮崎大学 公開講座

検索



申込先: 宮崎大学学び学生支援機構

TEL: 0985-58-7188 (平日9:00-16:00)

MAIL: m-chiiki@of.miyazaki-u.ac.jp

主催: 国立大学法人宮崎大学(学び・学生支援機構)

共催: 日本・スリランカ野球友好協会

後援: 独立行政法人国際協力機構(JICA)

協力: 一般財団法人アフリカ野球・ソフト振興機構

一般社団法人JBL

NPO法人日本アジア球友団ラリグラス

日越野球協会

宮崎サンシャインズ株式会社

# 2025年度後期 宮崎大学公開講座 世界の野球事情（高校野球特別編）

## PART② Schedule（開催時間は全て19:00～20:30）

|   | 日時           | テ ー マ                                            | 講 師   | 講師紹介                                                                                                                                                                    |
|---|--------------|--------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 11/5<br>(水)  | ノーサイン野球を通じてこれから必要とされる人材を育成する<br><br>弘前学院聖愛高校（青森） | 原田 一範 | 弘前学院聖愛高校野球部監督<br>2001年4月、弘前学院聖愛高校野球部創部と共に監督就任。選手の自立を促し、目先の勝利よりも将来の成長を最優先したユニークな指導法は注目を集める。2025年夏は3度目となる甲子園出場も果たすなど、実績も注目を集めるが、選手たちのスポーツマンシップの高さも注目を集める。                 |
| 2 | 11/12<br>(水) | リーグ戦を通じて育んだ人間力と勝負強さ（仮題）<br><br>掛川西高校（静岡）         | 大石 卓哉 | 掛川西高等学校野球部監督<br>掛川西高3年時の1998年夏に主将、遊撃手として甲子園に出場。2014年から4年間、静岡高で副部長、部長を務め、春夏5度の甲子園出場。2018年に母校・掛川西高の監督掛川西高等学校野球部監督に就任。2024年夏の甲子園出場。文武両道と人間的成長を重視する指導は注目を集める。               |
| 3 | 11/19<br>(水) | 世界に野球を広げるために甲子園を目指す<br><br>おかやま山陽高校（岡山）          | 堤 尚彦  | おかやま山陽高校野球部監督<br>青年海外協力隊員として2年間ジンバブエで野球指導を行う。ガーナ・インドネシアなどで代表監督やコーチを歴任し、2006年に、おかやま山陽高校野球部監督に就任。春夏通算3度の甲子園と連続出場に導いた。2019年には、ジンバブエ代表監督として東京オリンピック一次予選にあたる大会を指揮した。         |
| 4 | 11/26<br>(水) | 平日50分でも必ず成し遂げる<br><br>武田高校（広島）                   | 岡寄 雄介 | 武田高等学校野球部監督<br>1981年7月19日、広島県呉市生まれ。広島商業高校、神戸学院大学を経て、社会人野球や四国アイランドリーグ・徳島インディゴソックスでプレー。26歳で現役を引退後、教員免許を取得し、2011年から高校教員として指導を開始。2015年より武田高校硬式野球部の監督を務める。目標は「50分の練習で甲子園出場」。 |
| 5 | 12/3<br>(水)  | 震災と豪雨被害からのリスタート<br><br>輪島高校（石川）                  | 冨水 諒一 | 輪島高等学校野球部監督<br>石川県輪島市出身。大学卒業後2010年から2年間輪島高等学校野球部部長を務め、2012年に監督に就任。他者貢献・社会貢献できる人財の輩出を目的に活動し、その目的を達成するために甲子園出場を目指している。1年間で2度の災害に遭い、仮設住宅で生活しながら目的達成のために日々奮闘している。           |

